

2025 年 3 月 6 日

2024 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人子どもアミーゴ西東京

代表者・役職名 氏名 田島 和也

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

だがしや楽校

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2007 年度からの西東京市における放課後学童クラブの民間委託を契機に、学童クラブ父母会の連絡会に関わってきた保護者が中心となり設立。自らが民間委託の受け皿になると共に、子どもに関する行政の責務を明確にするために法人を作りました。2011 年度から、児童センター事業を受託。地域との協働、連携実現のため、受託事業だけではなく、地域連携事業も継続的に行なってきました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

我々が日常的に関わっている子ども達、子ども達の家族が地域とつながっていき、地域の一員となることは、子どもにとっての安心安全なまちづくりにつながることと思います。そういった機会が、学童クラブでの生活や、児童館活動の延長線上で、だがしや楽校の場において創出されることは、施設運営事業と地域づくりが結びつく形と言えるのではないかと考えます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

市の公園を貸し切り、出店団体を公募。それぞれの団体の活動に応じて出店する。
市内メキシコ料理屋さんによるキッチンカー出店、市内駄菓子屋によるおもちゃのワークショップ、地域で活動するチアダンスクラブや各学童クラブの子ども、保護者によるダンスのパフォーマンス。
当団体が運営する学童クラブから、子ども達、保護者も協力して、手作り品販売や遊びのブースの出店。児童センターを利用する中高生による遊びブースの出店。
子ども達の日頃の技を見せ合う「ベーゴマ大会」
当団体理事によるフランクフルト、アミーゴ焼き、飲み物、アイスの販売。
上記のようなコンテンツでイベントを運営します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

来場者約 1,000 名。だがしや楽校の目的の一つ【自分見せ】を基にステージブースを設け、学童・児童センターにかかわる子ども達が『魅せる・見る』場面を作れたことが良かったです。自分を表現できたことで、子どもたちの自信や希望に繋がり、各施設での遊びがさらに盛んになり、その後の生活の中でも変化が見られました。今年度は初の試みとして、OBOG を対象としたアミーゴボランティアを立ち上げ関わってもらいました。アミーゴを卒業した後も継続的な関わりを持ち、戻って来られる場所を作れたこと、OBOG も活躍できる場所を提供できたことは非常に良かったと思います。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

これまで市内南部地域で実施をしてきましたが、北部地域の人が行きやすい場所、また来場者が増えた場合のスペース確保の為に実施場所の選定が今後の課題であると考えます。
また、より地域を巻き込んでいくために他団体や企業へのアウトリーチや、継続的に安定した実施をしていくための資金繰りなどを今後の検討課題としていきたいと考えます。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



だがしや楽校を開催しました！

9月16日（月祝）に、私たちアミーゴの自主事業でもある「だがしや楽校」を開催しました！当日は天候にも恵まれ、およそ1000名近くの皆さんに会場いただきました。

今回は、アミーゴがだがしや楽校を始めるきっかけとなったスペシャルゲストの山口充夫さんにご参加いただき、改めてだがしや楽校の原点に戻ることができる良い機会となりました。

出店ブースでは学童・児童センターに通う小学生・中学生・高校生を中心に、だがしや楽校の主旨である「自分魅せ（見せ）」をして手作りの小物販売・ワークショップなどを行いました。子どもたちの魅力あふれるお店に、小さい子から大人まで多くの人が混ざり合い、楽しい時間を過ごしました。

近年のだがしや楽校で、盛り上がりを見せているステージプログラムでは、向台学童クラブの子どもたちの発表から始まり、くぼっちワンマンショー、チアダンス【HCP】、向台第二学童クラブの発表にみんなで盛り上がりました。子どもたちの可愛いダンス姿にはとても癒されました。

毎年恒例のベーゴマ大会では、50名もの参加がありました。参加者同士の熱い戦いに、見ている皆さんも応援に力が入り、熱気あふれる素晴らしい雰囲気になっていました。

今年は、手作り神輿が「わっしょい！わっしょい！」と大盛り上がり！ヤギサワベースさんの音楽とともにお祭り気分を味わいました。飲食ブースではアミーゴ焼きの復活に加え、昨年度に引き続き【メキシコレストランDESPERADO】さんにも出店していただきました。残暑もあり、ジュースやチューペットなども大人気で、飲食ブースはどこも大人気でした。

地域からの出店もたくさんあり、地域とのつながりを深めることができたがしや楽校でした。

「みんなでつながろう！We are The アミーゴ！」というテーマを掲げ、だがしや楽校を行いました。みなさんにとってどんながしや楽校になりましたか？これからも人と人とのつながりを大切にしながら、だがしや楽校を盛り上げていきたいと思ひます。また、来年のだがしや楽校でお会いしましょう(^^)／

*本事業は真如苑 2024年度多摩地域市民活動公募助成事業として実施されました。

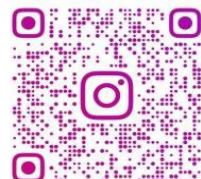
山口充夫さん
ご参加ありがとうございました！



ダンス発表



ベーゴマ大会



Instagram

アミーゴ通信 2024年10月号

発行日：2024年10月25日

発行者：松本 毅

住所：西東京市西原町1-5-13-101 電話：042-478-0056

e-mail：info@kodomoamigo.org



ホームページ



フェイスブック



Children's Amigo
Nishitokyo
子どもアミーゴ西東京

2024年10月号

NP0法人子どもアミーゴ西東京

アミーゴ通信

8月17日・18日で自然塾を実施しました！

「5年ぶりのお泊まり自然塾」

ついに宿泊の自然塾を実施できました！昨年は台風、それ以前はコロナ禍で実施できず。学童を卒所した子どもたちが参加できるキャンプが自然塾です。4年生合宿で経験した楽しさ、自分の出身学童を超えて遊び、美味しい食べ物を作り、火を囲み生活をつくり仲間関係を紡ぐ体験をしてほしい、街中ですれ違った時「よう！」と声をかけられる人と出合ってほしい。そんな場が今年ついに、参加者24名、高校生リーダー1名（もう1名は残念ながら体調不良で欠席）で泊まりがけで実施することができました。

「しかしまた台風が…」

2泊3日を予定していましたが、また今年も台風が通過する予報に…。そこで担当職員が話し合い、参加者の意向を叶えるために、中止ではなく16日（金）は実施を見送り、17日（土）は当日に下見をし、安全が担保できるなら1泊で実施することを決定しました。下見の結果、川は穏やかでとてもきれいでした。台風の影響はほとんどなく、無事に実施をする運びとなりました！

「自然塾に参加して…」

参加者の子どもたちが集まると、出身学童の子たちで集まっていることもあり、久しぶりに会った指導員を見て笑顔が見られます。しかし、知らない人もいる宿泊の行事で、子どもたちは時折緊張の表情を見せます。送り出す保護者の方々は、ありがたいことに「今年もよろしく！」と言わんばかりの理解とあたたかさで見送ってくださいました。

少し緊張の中電車で乗ると「え！君も〇〇小学校なの？」「わたし北原学童だったんだあ〜」子どもたちは指導員を介して混ざり始めます。高校生ボランティアもさすがで、人数の点呼だけではなく、気を回して関係を紡ぎます。到着すると早速テント張りです。生活をつくるとさらに距離が縮まります。そして決定的に子どもたちの関係が混ざり合ったのが、川遊びです。飛び込みに、浮き輪で川流れ、魚探し、小さな滝を見つけてミニウォータースライダー。川をのぼるときに自然と助け合う子どもたち。心の距離も自然と近くなったようです。極めつけはキャンプファイヤーの後に、ゲリラ豪雨の中、大きなあずま屋の下でジュース・お菓子を囲んでの雨宿り宴会。子どもたちの表情はこの頃にはすっかり柔らかく、声を出して笑うようになっていました。

子どもたちの「やりたい」を重要視する自然塾です。2泊分を1泊にまとめているので、てんやわんやでしたが、ある参加者が帰るときに発した言葉がとても印象的でした。「友達ってこうやってできるんだって思いました」この子がこの言葉を声にすることに心が震えたと同時に、自然塾の意味を居合わせたみんなが再認識した一幕でした。

今年も自然塾開催に会費と寄付をしてくださり大変感謝をしております。こんなかけがえのない経験がたくさんできる自然塾をこれからもつくり続けていきます。



カワセンのちょこっとベーゴマコラム



ベーゴマは他の伝承遊びと違って対戦相手が居ないと成り立ちにく遊びなのですが、逆に言えば他の仲間と関わりやすく、それが学童クラブの性質にマッチしているとも言えます。アミーゴの学童クラブでも、運営委託が開始された当初からベーゴマ遊びが取り入れられていました。

最初は貸出のコマで練習して、自分で紐を巻いて床（トコ）の上で10秒まわせたら、最初の1つは学童からプレゼント！…なのですが、まず紐を巻くのがとても難しいのがベーゴマ。実際私も出来る様になるのに一週間かかりました。ここが最初のハードルになるのですが、ベーゴマが出来る様になった先輩が、後から始める後輩に巻き方や投げ方を教えてくれて、そのままライバルになり、遊びとして盛り上がりていきました。今では全施設共通の学童遊びとして、毎年実施している当法人のだがしや楽校ではベーゴマ大会を実施するまでに成長しました。近年はアミーゴオリジナルのベーゴマも作成し、市内のイベントに参加した際に販売をしています。

この様に学童で発展してきたベーゴマ、皆さんも当法人のイベントに足を運び、是非触れてみていただきたいです…！ それではまた次回！